



ふくしの ひろば

鹿児島

ふれあいネットワーク
<http://www.kaken-shakyo.jp/>

第175号
平成23年7月1日号発行



鹿児島県総合防災訓練(霧島市 H23.5.26)本文は5ページに

県社協から

平成22年度事業報告 2

平成22年度決算報告 3

地域福祉部情報

ふるさと雇用再生特別基金事業紹介 4

《地域と共に手をつなぐボランティア》

鹿児島県総合防災訓練 5

長寿社会推進部情報

第20回シルバー文化作品展開催案内 6

平成22年度シルバー110番の相談状況 7

元気高齢者チャレンジ推進事業開催案内 8

施設福祉部情報

第2回県知事杯知的障害児者フットサル大会 9

平成22年度経営相談状況 9

小さな親切運動

小さな親切運動鹿児島県本部から 10

介護実習・普及センター情報

7～9月の介護講座の案内 10

《県共同募金会からのお知らせ》

「東日本大震災」への支援について 11

インフォメーション 12

平成22年度

鹿児島県社会福祉協議会

事業報告・決算状況

地域における福祉ニーズは量的にも質的にも多様化してきており、制度の谷間にある課題への対応も含めて、公的・私的の両面を軸とした政策・施策に基づきサービス提供のあり方について、野の問題が顕在化してきております。

こうした諸課題に対応するため、地域福祉の中核的推進組織である県社協は、多様な福祉ニーズに的確に応え本県の地域福祉を推進するため、平成22年度の基本目標を次のとおり定め、また、県の新たな受託事業等も積極的に取り入れながら全力を傾注して参りました。

具体的な事業の中では、平成21年度から県社協独自の財源を活用し創設した「地域福祉推進基金」事業の積極的な推進をはじめ、福祉・介護人材確保のための「福祉・介護人材確保緊急支援事業」、「福祉・介護人材マッチング支援事業」及び「介護福祉士等修学資金

貸付事業」、失業者や低所得世帯の方々を支援する「生活福祉資金貸付事業」での迅速・的確な対応、「福祉サービス利用支援事業」実施体制の再構築のほか、障害者の自立・就労への支援や高齢者の生きがい・健康づくり等に資する様々な事業に新たな視点も盛り込みながら積極的に取り組んで参りました。

また、県の緊急雇用対策事業の「公募型雇用創出促進事業」にも積極的に取り組み、雇用機会の創出に寄与したとともに、平成22年10月20日に発生した奄美地方集中豪雨災害では、県社協内に災害救援対策本部を設置し、災害ボランティア活動支援のための職員派遣を積極的に行いました。

さらに、平成23年3月11日に発生した東日本大震災に迅速に対応するため、補正予算を編成し被災地に職員を派遣するなど支援を行いました。

基本目標

- 1 地域福祉活動の推進
- 2 障害福祉・高齢者福祉・少子化対策等、社会保障制度への的確な対応
- 3 ボランティア活動の促進
- 4 福祉相談活動の推進
- 5 社会福祉施設・団体の活動促進
- 6 福祉サービスの利用支援及び苦情解決の推進
- 7 福祉人材の養成・確保の推進
- 8 生活福祉資金等の貸付制度の的確な運用と債権管理の推進
- 9 すこやか長寿社会づくり運動の推進

事業報告

<p>I 会務の運営並びに連絡調整等</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 役員会等の開催 2 関係機関・団体との連絡調整 3 自主財源の確保 	<p>IX 社会福祉施設・団体の活動促進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉振興資金の貸付 2 福祉施設経営指導事業 3 種別協議会の活動促進 	<p>XIV 民生委員児童委員活動の充実強化</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 民生委員児童委員協議会活動への支援
<p>II 広報活動等の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福祉情報提供事業 	<p>X 福祉サービスの利用支援及び苦情解決の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 福祉サービス利用支援事業の推進 2 福祉サービス苦情解決事業の推進 	<p>XV 生活福祉資金、離職者支援資金等貸付事業の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 総合支援資金、福祉資金、教育支援資金、不動産担保型生活資金及び離職者生活支援つなぎ資金の貸付 2 債権管理の強化
<p>III 地域福祉活動の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域福祉推進支援事業 2 県社会福祉協議会会長表彰事業の実施 3 「ねんりん基金」の設置 4 地域福祉推進基金の創設と事業の実施 	<p>XI 介護サービス情報の公表事業の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 指定情報公表センターの運営 	<p>XVI すこやか長寿社会づくり運動の推進及びふれあいプラザなのはな館の管理運営</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 すこやか長寿社会づくり運動の推進 2 ふれあいプラザなのはな館の管理運営
<p>IV 制度改正等対応市町村社協支援事業</p>	<p>XII 福祉人材の養成・確保</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 社会福祉事業に従事しようとする者に対する養成等 2 福祉人材無料職業紹介事業 3 社会福祉事業従事者確保に関する支援等 4 福祉・介護人材確保緊急支援事業 5 福祉・介護人材マッチング支援事業 6 介護福祉士等修学資金の貸付 7 社会福祉事業従事者等研修 8 社会福祉事業従事者の福利厚生 9 県指定事業 10 教員免許介護等体験受入調整事業 	<p>XVII 県社会福祉センターの管理・運営</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県社会福祉センターの整備及び維持管理、利用促進等
<p>V 障害福祉相談体制整備特別支援事業・障害福祉人材育成研修事業</p>	<p>XIII 介護実習・普及センターの運営</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 介護実習・普及センター運営事業 2 介護業務従事者等研修の実施 	<p>XVIII 公募型雇用創出促進事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高齢者等要援護者地域生活支援総合事業 2 安心子育てサポートモデル事業 3 地域ジュニアふれあい体験事業 4 企業体験・研修事業
<p>VI ボランティア活動の促進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 県ボランティアセンターの運営 2 福祉教育推進事業 3 養成・研修事業 4 広報啓発事業 5 市町村ボランティアセンターの活動促進 		
<p>VII すこやか基金による援助活動</p>		
<p>VIII 福祉相談活動の推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 相談センターにおける福祉相談業務の推進 2 福祉機器展示相談センターの運営 3 相談関係機関との連携及び相談体制の支援 		



■平成22年度 一般会計及び特別会計資金収支 決算 総括表

(単位：円)

会計区分		収入額	支出額	残 額	
I	一般会計	1,056,765,775	974,566,468	82,199,307	
II	公益事業特別会計 I	200,710,990	184,207,710	16,503,280	
III	公益事業特別会計 II	2,193,872,530	2,073,855,334	120,017,196	
IV	公益事業特別会計 III	324,733,841	324,733,841	0	
V	収益事業特別会計	14,331,259	11,589,950	2,741,309	
VI	その他の特別会計	生活福祉資金特別会計	3,808,251,294	3,808,251,294	0
		要保護世帯向け不動産担保型生活資金特別会計	888,000	888,000	0
		生活福祉資金貸付事務費特別会計	94,844,890	94,103,214	741,676
		離職者生活支援つなぎ資金特別会計	43,359,256	43,359,256	0
合 計		7,737,757,835	7,515,555,067	222,202,768	

■ 総貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

資産の部		金額
流動資産		4,332,826,360
現金預金	3,392,055,105	
有価証券	650,000,000	
未収金	254,596,955	
立替金	3,269	
前払金	788,181	
仮払金	256,405	
商品	126,445	
会計単位外貸付金	35,000,000	
固定資産		13,399,963,040
基本財産	335,725,697	
建物	330,725,697	
基本財産特定預金	5,000,000	
その他の固定資産	11,469,405,787	
建物	1	
建物付属設備	13,824,716	
車輛運搬具	263,924	
器具及び備品	25,358,500	
ソフトウェア	459,355	
社会福祉積立金引当有価証券	450,000,000	
すこやか基金引当預金	47,205,913	
すこやか基金引当有価証券	100,000,000	
ねんりん基金引当預金	3,467,919	
ねんりん基金引当有価証券	170,000,000	
地域福祉推進基金引当預金	5,237,314	
退職手当積立金引当預金	59,179,466	
退職手当積立金引当有価証券	100,000,000	
退職共済預け金	167,467,260	
修繕引当特定預金	10,000,000	
退職共済引当特定預金	10,254,766,006	
県単独事業貸付金	33,570,684	
長期貸付金	56,119,000	
民生委員児童委員協議会貸付金	20,000,000	
徴収不能引当金	△ 18,692,675	
貸倒引当金	△ 35,621,596	
会員権（施設利用権）	3,800,000	
出資金	3,000,000	
貸付金	1,120,884,995	
欠損補てん積立特定預金	473,946,561	
資産の部合計		17,732,789,400

負債の部		金額
流動負債		222,572,747
未払金	164,579,493	
預り金	4,941,589	
前受金	115,500	
賞与引当金	17,936,165	
会計単位外借入金	25,000,000	
特別会計借入金	10,000,000	
固定負債		4,953,294,957
退職給与引当金	374,473,222	
交付金	4,577,754,735	
特別会計借入金	1,067,000	
負債の部合計		5,175,867,704

純資産の部		金額
基本金		5,000,000
1号基本金	100,000	
4号基本金	4,900,000	
積立金		7,154,803,444
社会福祉積立金	450,000,000	
すこやか基金積立金	147,205,913	
ねんりん基金積立金	173,467,919	
地域福祉推進基金積立金	5,237,314	
退職手当積立金	159,179,466	
修繕積立金	10,000,000	
退職共済積立金	10,254,766,006	
欠損補てん積立金	473,946,561	
固定負債積立金	△ 4,578,821,735	
積立金	59,822,000	
基金		1,143,731,847
運用財産基金	1,143,731,847	
次期繰越活動収支差額		4,253,386,405
前期繰越活動収支差額	4,435,253,463	
うち当期活動収支差額	150,505,772	
純資産の部合計		12,556,921,696

負債及び純資産の部合計	17,732,789,400
--------------------	-----------------------

平成22年度鹿児島県社会福祉協議会事業報告書、貸借対照表及び収支計算書は、本会において閲覧することができます。

お問い合わせ先

TEL099(257)3855 FAX099(251)6779 e-mail:soumu@kaken-shakyo.jp
 社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 総務部

平成23年度ふるさと雇用再生特別基金事業 (公募型雇用創出促進事業)のご紹介

高齢者等要援護者地域生活支援総合事業 ～22年度実績と23年度の取り組み～

地域における高齢者等の要援護者に対する支え合いの体制づくりを進めるため、モデル市町村3か所(南九州市、霧島市、天城町)を設定して地元社協の協力を得ながら住民座談会(延べ12回)、危険箇所調査、支え合いマップづくり、地域生活応援員の養成を行いました。

また、高齢者の地域での「居場所」となっている「ふれあい・いきいきサロン」の活動実態調査を行い、課題を明らかにするとともに活性化の方策を策定し、併せて活動事例集を作成配布することでサロン活動の活性化を図りました。

23年度は、新たなモデル市町村としてさつま町、始良市、錦江町の3か所を設定して住民座談会を中心に支え合いマップづくりや支え合い活動の展開を行う他、県内で「ふれあい・いきいきサロン」が行われている市町村におけるサロン活動支援講座を実施します。



安心子育てサポートモデル事業 ～22年度実績と23年度の取り組み～

核家族化の進行、地域とのつながりの希薄化等で広がっている子育てへの不安感、孤独感を解消し安心して子どもを生み育てられる地域の子育て支援体制づくりを進めるため、モデル市町村3か所(日置市、曾於市、湧水町)を設定し、地元社協に職員を駐在させ、社協の協力のもとに子育て世帯や地域住民の子育て支援に関する調査をはじめ、ボランティアの定着を図り、子育てサロンの活動支援や子育て支援ネットワークづくりを行いました。

また、老人クラブに所属する元気高齢者の子育てを通じた社会参加を進めるため、県老人クラブ連合会にも職員が1名駐在し、文化伝承や昔遊び等の支援ができる単位老人クラブの募集や情報紙の作成等も行いました。

当会では、子育て支援のボランティア確保のための「子育て支援プロデューサー養成講座」や子育て支援団体の調査、事例集作成、子育て支援団体の活動活性化のための講師派遣事業等を実施いたしました。

23年度は、新たにモデル市町村として垂水市、奄美市、屋久島町の3か所を設定し、子育て支援のネットワークの設置を急ぎながら、昨年度の事業内容を踏襲しつつ、効率的に事業が展開されるように、子育て支援の「人づくり」「体制づくり」「資源づくり」に向け、取り組んで参ります。



鹿児島県
総合
防災訓練

被災者支援のための

災害ボランティアセンター設置・運用訓練



地震・洪水・崖崩れ等の災害を想定した、鹿児島県総合防災訓練が、5月26日、霧島市の霧島高原国民休養地を中心に開催されました。県社会福祉協議会は霧島市社会福祉協議会等と連携して、災害時のボランティア活動を迅速かつ効果的に展開し、高齢者や障がい者等のいわゆる災害時要援護者を中心とした被災者を支援できるよう「災害ボランティアセンター設置・運用訓練」を実施しました。

霧島市を中心に大隅・北薩からも多数参加

当日は今にも雨が降るような暗雲垂れこめるもと、地元牧園地区の民生委員をはじめとして、霧島市内全域や北薩・大隅地区から福祉団体や社会福祉協議会職員総計99名が参加しました。まず、訓練開始にあたって、霧島市社会福祉協議会の松枝洋一郎会長が訓練への心構えについて話された後、県ボランティアセンターから目的や実施方法等の説明がありました。



参加者の感想等

東日本大震災が発生して復興に向け国を挙げて取り組んでいる中の訓練になったせいか、参加者も真剣に取り組んでいました。当地牧園町のある民生委員の方は、「新燃岳の噴火もあります。自分が被災者になったとき、どんな行動をとればよいのか分かった。日頃から緊張感をもって、地域の絆を強くしていなければならない。」と話していました。

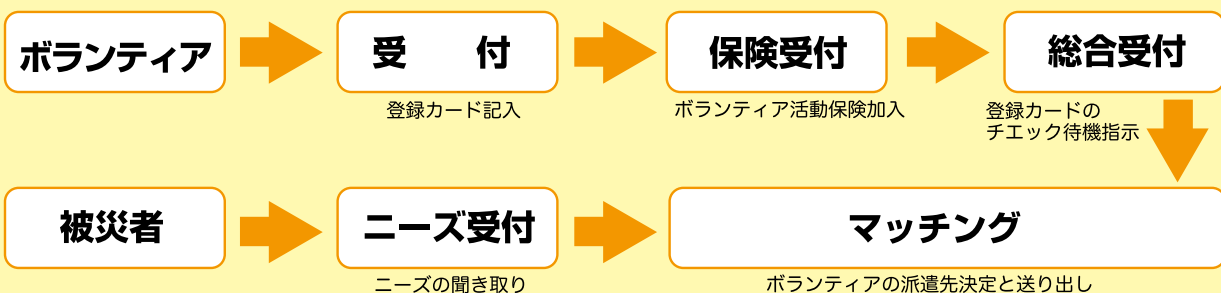


県ボランティアセンター所長の講評

雨の中での訓練になりましたが、参加者全員が目的達成のために真剣に取り組んでいました。東日本では大震災で、その復興支援のために多くのボランティアが活動しています。本県でも新燃岳の問題があり、いつ災害に直面するか分かりません。「備えあれば憂い無し」。本日はその時に備えた訓練でした。日頃から地域でできることから取り組みましょう。



災害ボランティアセンター運用図





第20回 シルバー文化作品展 ～ねんりんピック鹿児島メモリアル事業～

作品募集のお知らせ

長寿社会推進部では、高齢者の創作による文化作品を展示し、高齢者の趣味活動や文化創作意欲を高めることにより、心身ともにすこやかなゆとりのある生きがいづくりを推進するため「シルバー文化作品展」を毎年開催しています。出品された作品は全て展示しますので、奮ってご応募ください。(開催要項と出品申込票は、各市町村社会福祉協議会・教育委員会・福祉担当課等に準備してあります。)

部門 日本画・洋画・書・工芸・写真・彫刻

資格 県内に居住する満60歳以上
(昭和27年4月1日以前に生まれた方)のアマチュア。

出品点数 全部門を通じて1人1点とし、作品は出品者(個人)が創作したもので未発表のもの。

テーマ 自由

期間 平成23年9月7日(水)～11日(日)

会場 鹿児島県歴史資料センター黎明館(第2・第3特別展示室)

作品の搬入 平成23年9月2日(金)午前9時～午後4時

出品申込票と作品を黎明館入口に提出する。ただし、離島などから出品する場合は、宅急便も認めるが、搬入方法等については開催要項に記載してあるので確認すること。

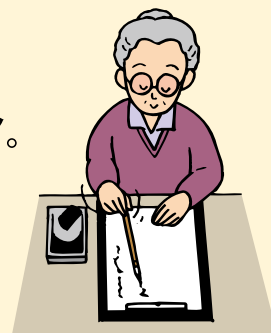
出品料 1,000円(搬入当日に現金で納付する。宅急便利用の方は開催要項で確認すること)

表彰 鹿児島県知事賞 特別賞(寺園勝志賞) 鹿児島県社会福祉協議会長賞
(各部門ごと) ねんりんピック鹿児島メモリアル賞
審査委員長賞 入賞(各部門ごと 金賞・銀賞・銅賞・奨励賞)
高齢者賞(各部門ごと) 第20回開催記念賞

※ 出品作品のうち、特に優れている作品は「第25回全国健康福祉祭みやぎ大会」に出品する。

ギャラリートーク 平成23年9月11日(日)午前11時から各部門の審査委員による作品の解説があります。

表彰式 平成23年9月11日(日)午後2時から 黎明館講堂



お問い合わせ先

鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部 TEL.099-250-7441

平成22年度シルバー110番の相談状況



相談件数は1,800件台が続く

平成22年度の高齢者やその家族の方々などからの相談状況は次のとおりでした。1年間の相談件数は、1,827件で前年度より30件減少しましたが、1,800件台と高い状況が続いています。

相談件数

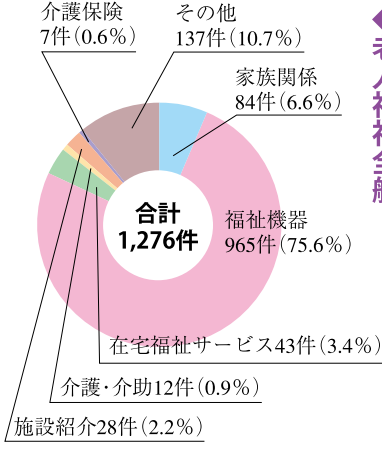
区分	20年度		21年度		22年度	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
老人福祉全般	1,177	67.7	1,222	65.8	1,276	69.8
経済・生活	103	5.9	83	4.5	98	5.4
法律	383	22.0	447	24.1	369	20.2
保健・医療	75	4.3	102	5.5	69	3.8
いきがいづくり	2	0.1	3	0.1	15	0.8
合計	1,740	100.0	1,857	100.0	1,827	100.0

項目別相談状況

相談内容を項目別にみますと、「老人福祉全般」が1,276件で前年度同様最も多く全体の約7割、次いで「法律」が369件であり、この2項目で全体の約9割を占めています。

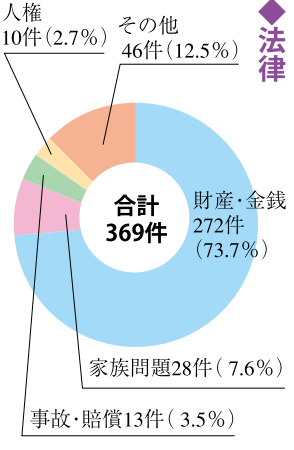
また、相談を医師・弁護士・福祉機器相談員などによる「専門相談」とその他の「一般相談」に分類しますと、「専門相談」が1,133件で約6割、「一般相談」が694件で約4割となっています。

◆老人福祉全般



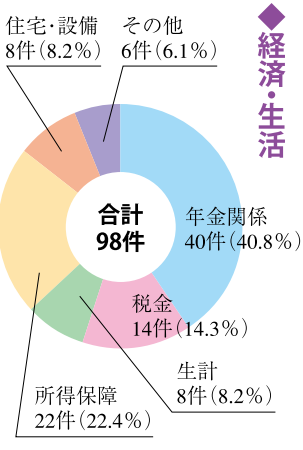
最も相談件数の多い「老人福祉全般」の中では、在宅介護の推進に欠かせない「福祉機器」に関する相談が最も多く965件で全体の7割以上を占め、「家族関係」84件、「在宅福祉サービス」43件、「施設紹介」28件などとなっています。

◆法律



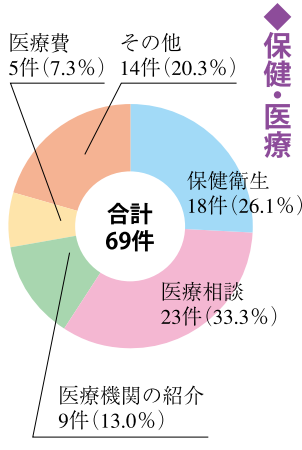
相談件数が2番目に多い「法律」では、相続や借金整理などの「財産・金銭」に関する相談が272件で約7割を占め、以下「家族問題」28件、「事件・賠償」13件などとなっています。

◆経済・生活



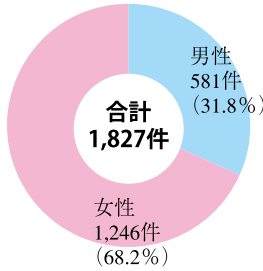
「年金関係」に関する相談が40件で最も多く約4割を占めており、以下「所得保障」22件、「税金」14件、「生計」8件などとなっています。

◆保健・医療

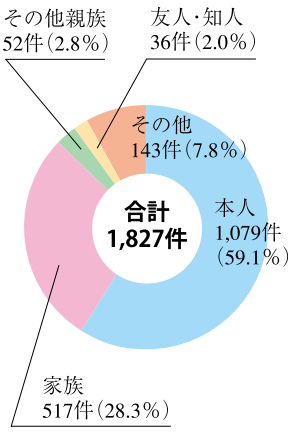


男性からの相談は581件で約3割、女性からの相談は1,246件で約7割となっています。

◆性別



◆相談者別

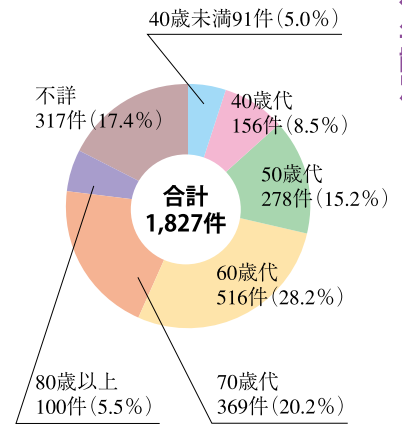


本人からの相談が1,079件と約6割を占め、次いで家族、その他親族を占めています。「その他」は、市町村社協・施設の職員や民生委員などです。

利用形態別相談状況

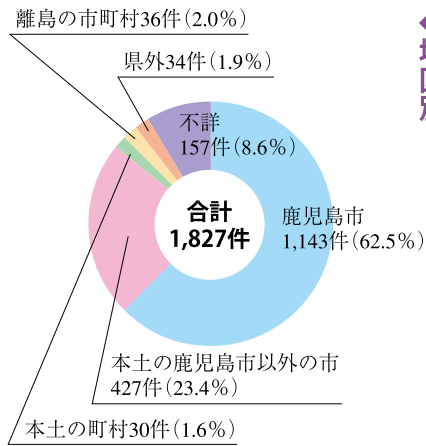
「医療相談」が23件で約3割を占めており、次いで「保健・衛生」が18件となっています。

◆年齢別



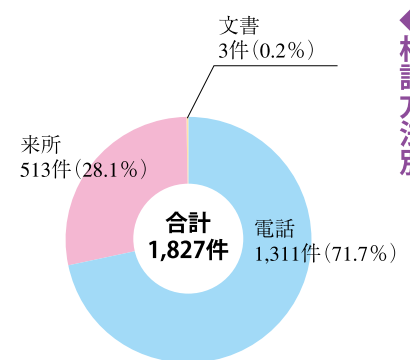
60歳代が516件で最も多く、次いで70歳代369件、50歳代278件となっています。80歳代以上の方からの相談も100件ありました。

◆地区別



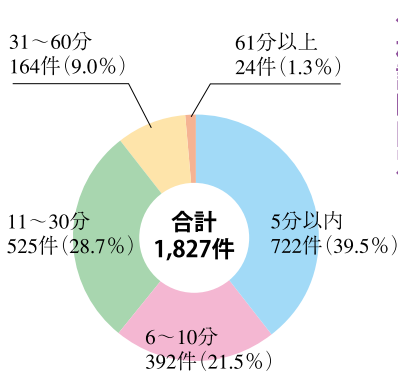
鹿児島市が1,143件で約6割を占めています。離島から36件、県外からも34件の相談がありました。

◆相談方法別



電話による相談が1,311件で7割を占めていますが、来所しての面接相談も513件ありました。なお、文書による相談も3件ありました。

◆相談時間別



最も多いのは5分以内の722件ですが、次いで11~30分が525件、6~10分が392件と9割は30分以内の相談でした。61分以上の長時間の相談は24件ありました。

“平成23年度元気高齢者チャレンジ推進事業”

『高齢者を中心とした地域貢献活動団体』
を鹿児島県が募集



県では、高齢者が中心になって様々な分野で地域貢献活動を行っている団体を募集し、表彰いたします。応募書類は、県各地域振興局・支庁、市町村、市町村社会福祉協議会・老人クラブ連合会等に準備してありますのでふるってご応募ください。

- 応募期間** 平成23年5月19日(木)~7月28日(木)必着
- 応募先** 県各地域振興局・支庁の地域保健福祉課
- 表彰式・事例発表会** 期 日:平成23年10月27日(木)
場 所:かごしま県民交流センター(鹿児島市)

*審査会において決定した表彰団体には、表彰状と副賞を授与します。

お問い合わせ先

- 【募集について】 **最寄りの県地域振興局・支庁の地域保健福祉課**
鹿児島県県民生活局 長寿・生きがい推進室
TEL 099-286-2568 FAX 099-286-5524
- 【表彰式等について】 **鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部**
TEL 099-250-7441 FAX 099-250-7443

第2回県知事杯 知的障害児者フットサル大会

去る6月4日(土)に「鹿児島県知事杯」と銘打った知的障害児者フットサル大会を鹿児島ふれあいスポーツランド屋内運動場で開催し、施設や養護学校から22チーム、約160人が参加しました。

この大会には、NPO法人や鹿実サッカー部の協力のもと、講習会を経て本大会を迎えることができました。大会当日は、どの試合も熱戦を繰り広げる中、準決勝では白熱した展開で、2試合とも同点でPK戦になり、勝者と敗者の姿には感動するものがありました。まさに、大会テーマの「スポーツの原点は感動」を肌で感じ、今後この大会がますます発展するよう期待したいです。



1部

★優勝

ドラゴンファイターズ

★準優勝

トップガン(吉野学園)

2部

★優勝

さちかぜ

★準優勝

さちかぜ満天

◆福祉施設経営相談コーナー◆

平成22年度相談実績

「福祉施設経営相談コーナー」(県社会福祉協議会)の平成22年度の相談実績は次のようになりました。

年間の相談件数は92件で、前年度より大幅な減となりましたが、この理由としては目立った制度改正がなかったことやタイムリーな会計研修の効果もあるものと考えております。

相談方法では、電話文書が59件で、次に訪問相談が22件等となっております。施設種類別相談件数は、老人福祉施設40件、児童福祉施設13件、知的障害者施設8件、身体障害者施設7件となりました。

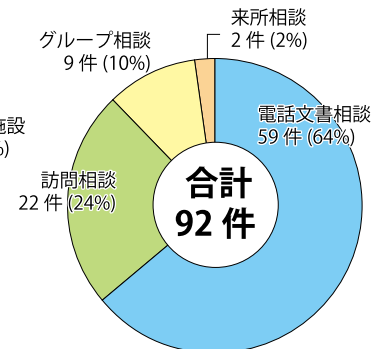
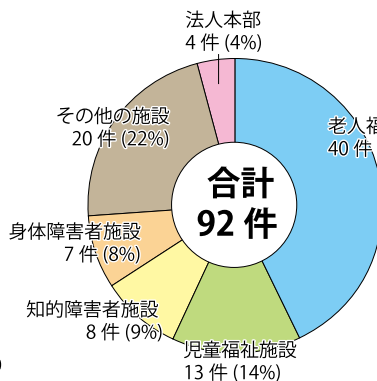
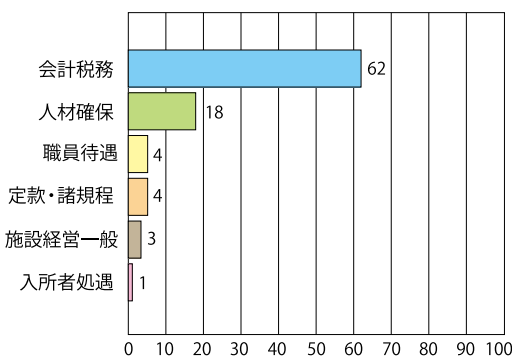
また、内容別相談件数は、会計税務が62件、人材確保18件、職員待遇4件等となりました。

相談コーナーでは、専任相談員の他、兼任相談員等を配置しておりますのでお気軽にご利用ください。

なお、秘密は厳守し、相談は無料となっております。

電話 099・257・9885
FAX 099・250・9358

内容別相談件数



小さな親切運動とは・・・あなたも「小さな親切」運動会員に・・・

小さな親切運動は、「人には親切に」を目標に掲げ、心のかようあたたかな社会をつくる運動です。

発 足:昭和38年6月
地方組織:33道府県

あなたも会員に

「小さな親切」運動は会員の会費で運営されています。「個人」でも「団体」でも加入できます。一人でも多くの県民の方が会員としてご支援くださるようお願いいたします。

このような事業を展開し、心を育んでいます。

- ①「小さな親切」運動実践推進協力校
鹿児島市立田上小、始良市立蒲生小、薩摩川内市立川内中央
- ②「小さな親切」実行章
- ③「小さな親切」作文コンクール
応募締切 7月25日(月)
- ④紙芝居による「心の教育」プロジェクト

「小さな親切」実行章

- ①親切行為を見つけたら・・・まず、下記へご一報ください。簡単な推薦文が必要です。
- ②東京本部で選考し、受章者を決定します。その後、実行章が送付されてきます。

お問い合わせ先

小さな親切運動県本部 (鹿児島県社会福祉協議会ボランティアセンター内)

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号(県社会福祉センター内)

TEL 099-257-3848

7月～9月 介護講座のご案内

講座名	日時	内 容	場 所	受講料等
地域介護講座(出水市)	7月 8日(金) 7月 9日(土) 9:30～16:30	介護保険の理解、転倒予防 起居、移乗、排泄ケア、嚥下障害、認知症の理解など	出水市社会福祉会館	500円
介護食講座	7月23日(土) 10:00～15:00	介護食と高齢期の栄養改善 調理実習	かごしま県民交流センター	1,500円
介護職スキルアップ研修(認知症ケア)	7月30日(土) 10:00～16:30	認知症高齢者への理解 グループワーク	かごしま県民交流センター	4,000円
かぞくで学ぶふくし体験教室	7月31日(日) 13:00～16:00	車いす、高齢者疑似体験 車いすでバス乗車体験など	かごしま県民交流センター	無料
車いす・高齢者疑似体験指導者研修	8月 4日(木) 10:00～16:00	高齢者の心身の特徴、車いすの 基礎知識・操作など	かごしま県民交流センター	無料
地域介護講座(伊佐市)	8月 6日(土) 9:30～16:30	介護保険の理解、起居・移乗、 認知症の理解・ケアなど	伊佐市総合保健福祉センターまごし館	500円
介護者の健康管理教室	9月 4日(日) 13:00～16:00	介護者の健康管理、簡単ヨーガで 心身リフレッシュ	かごしま県民交流センター	500円
やさしい介護教室	9月10日(土) 10月 8日(土) 10月21日(金) 9:30～16:30	高齢者の生活・行動心理、介護保険制度、 身の回り介護、栄養と食事介助、床つれ 予防など (注1)	かごしま県民交流センター	半日当り 300円
介護職基礎研修	9月14日(水) 9月15日(木) 9:30～16:30	高齢者の生活・行動心理 腰痛予防、嚥下障害 移動・移乗介助など	かごしま県民交流センター	2,000円

(注1):各開催日の午前のみ、午後のみ受講も可能です。

*申込み方法等の詳しいことについては、鹿児島県介護実習・普及センターへお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター

(運営:社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会)

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号
(かごしま県民交流センター内)

TEL 099-221-6616

FAX 099-239-0384

E-mail kaigo@kagoshima-pac.jp

URL <http://www.kagoshima-pac.jp>

県共同募金会からの
お知らせ

地域の福祉、みんなで参加



☎ 099 (257) 3750
URL <http://www.minc.ne.jp/akaihane>

「東日本大震災」への支援について

被災者の方々への**義援金**および
災害ボランティア・NPO活動への**支援金**に
ご協力をお願いします。

義援金 東日本大震災義援金について

お寄せいただいた義援金は、関係機関で構成される配分委員会で配分を決定し、全額が被災された皆様に届けられます。県共同募金会では、中央共同募金会と連携して義援金を募集しています。皆様のご協力をお願いいたします。

受付期間 平成23年9月30日まで

受入口座

金融機関	支店名	口座番号	口座名義
鹿児島銀行	県庁支店	(普)1274171	社会福祉法人鹿児島県共同募金会 会長 溝口 宏二
南日本銀行	県庁支店	(普)1128402	社会福祉法人鹿児島県共同募金会 会長 溝口 宏二
ゆうちょ銀行	00170-6-518		中央共同募金会 東日本大震災義援金

※各銀行本支店間の振込手数料は無料となります。

※この義援金は振込受領書等をもって税制上の優遇措置(法人税、所得税、個人住民税)の適用対象となります。

支援金 赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金」について

東日本大震災についても、ボランティア活動が救援活動等に大きな役割を果たしています。しかし、今回は、被害が極めて甚大であることから、救援活動は広域化、長期化し、活動に要する費用もかなりの額にのぼると考えられます。中央共同募金会では、その継続的な活動を支援するための募金を受付けています。現地へ赴いて活動はできなくてもボランティア・NPO団体の応援を通じて被災地を支援することができます。皆様のご協力をお願いいたします。

受付期間 平成25年3月31日まで

受入口座

金融機関	支店名	口座番号	口座名義
三井住友銀行	東京公務部	(普)0162085	社会福祉法人中央共同募金会 災害ボランティア口
みずほ銀行	虎ノ門支店	(普)4130667	社会福祉法人中央共同募金会 災害ボランティア口

※各銀行本支店間の振込手数料は無料となります。

※この募金は振込受領書等をもって税制上の優遇措置(法人税、所得税)の適用対象となります。

※詳しくは、県共同募金会HP (<http://www.minc.ne.jp/akaihane>) をご覧ください。

インフォメーション

information



みなさまのご厚意に感謝いたします。

次の方がたから、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。
ありがとうございました。(平成23年5月～平成23年6月)

- 安永 千穂子 様
- 前村 カズ子 様



鹿兒島県社会福祉協議会事務局 連絡先

部・所名	電話番号	FAX番号	部・所名	電話番号	FAX番号
総務部	099-257-3855(代)		長寿社会推進部 (シルバー110番) (福祉機器展示相談センター)	099-250-7441	099-250-7443
地域福祉部	099-257-3855	099-251-6779		099-250-0110	
ボランティアセンター	099-253-6922		利用支援事業	099-253-1294	099-257-5707
施設福祉部	099-256-6789	099-214-9358		099-257-5700	
福祉人材・ 研修センター (介護支援専門員試験事務局)	099-256-6767	099-250-9363	福祉サービス 運営適正化委員会	099-257-3875	099-221-6615
	099-258-7888			099-286-2200	
	099-258-1172		099-221-6616		
民生部	099-214-3701	099-214-3812	介護実習・普及センター (展示室)	099-221-6616	099-221-6640

社会福祉施設 しせつの損害補償 総合損害補償

☎ ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために!

プラン1 施設業務のための補償

(賠償責任保険、普通傷害保険、動産総合保険)

①基本補償

- 基本補償(A型)は、法人業務中、法律上の賠償責任が発生した場合、包括的に補償
- 見舞費用付補償(B型)は、賠償責任のない場合の見舞金が充実
- オプション1 訪問・相談等サービス補償
- オプション2 施設の医療事故補償

②個人情報漏えい対応補償

- 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含みます)に補償

③施設の什器・備品損害補償

- 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
- 施設の現金等も補償

◆加入対象は、社会福祉法人等が運営している社会福祉施設です。
全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容です。

プラン2 施設利用者のための補償

(普通傷害保険)

- ①入所型施設利用者の傷害事故補償
- ②通所型施設利用者の傷害事故補償
- ③施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 施設職員のための補償

(労働災害総合保険、普通傷害保険、約定履行費用保険)

- ①施設の労災上乗せ補償
- ②施設職員の傷害事故補償
- ③施設職員の感染症罹患事故補償

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「普通傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。

団体
契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会
(引受幹事保険会社) 株式会社 損害保険ジャパン

取扱
代理店

株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

広報紙「ふくしのひろば」は
本会のホームページでもご覧になれます。
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779
E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp
★この広報紙は、共同募金会の協力を得て発行されています。